



2021年11月17日
マリンネット株式会社

MN-Station®が日本海事協会「Innovation Endorsement」製品・ソリューション認証を取得

マリンネット株式会社(東京都港区、代表取締役 田中克希)が顧客の船舶管理支援事業の1つとして提供している船舶IT機器の監視・管理を実現するサービス(MN-Station®)が、一般財団法人 日本海事協会の革新技术を対象とした認証サービス「Innovation Endorsement」の製品・ソリューション認証を取得し2021年11月16日(火)に認証授与が行われました。

この製品・ソリューション認証はデジタル技術を活用した高度な製品・システム等を第三者機関である日本海事協会が認証するものです。

MN-Station®は、IT技術を活用した船舶IT機器の監視・管理サービスで、顧客の船舶管理支援をサポートするために2019年からサブスクリプションサービスとして開始しました。近年では、V-SAT通信サービスの発達から船舶のインターネット常時接続が普及してきている事を背景に、国際安全コード(ISMコード)において、船主・運航者の“安全管理士システム(SMS)にて対応すること”が求められています。

マリンネットでは、SMSにおけるCSMS(サイバーセキュリティマネジメント)策定支援を実施しておりますが、CSMSは策定後の訓練や維持管理、監視を具体的に実践していく必要もある事から、よりの確な本船サポートにも応えられるソリューション「MN-Station®サービス」を提供し、そのコアユニットとシステムを自社開発しました。

サービスをご活用いただいている顧客は、目の届かない海上を航行する船舶の中に設置したMN-Station®が、自動的に船内のPCやネットワークを監視することで、陸上で管理しているかのように稼働状況を把握することが可能となります。またこの監視作業はマリンネットが行い、顧客に毎月報告書を提出。従い平時においては、顧客の業務負担の増加を増抑える事が可能です。そしてインシデント発生の際は、顧客は、MN-Station®が保存している記録から詳細が把握でき早急な対処が可能となります。

2019年のMN-Station®のサービス提供開始以降、これまでに多くの船舶でご利用いただい

ており、引き続きマリネットではサービスの拡充に努めてまいります。



証書授与式の様子

左： 一般財団法人 日本海事協会 飯田 潤一郎 副会長

右： マリネット株式会社 田中 克希 代表取締役社長